

巻 頭 言

JFE エンジニアリング
代表取締役社長

岸本 純幸



我が国は、地球温暖化対策に代表される環境・エネルギー問題への対応や、老朽が進む社会インフラの更新・延命など、解決すべき多くの課題を抱えています。

環境・エネルギー問題では、経済成長の著しい BRICs 諸国などのエネルギー消費量増加にともない、温室効果ガスの排出量削減や資源枯渇問題の解決が全世界共通の重要課題であります。これに対して、世界的な「グリーンニューディール」の流れは確実に強まっており、昨年の COP15 での議論に見られるとおり各国の取り組みが明確になりつつあります。我が国においても「化石エネルギー依存社会」から「低炭素社会」、「循環型社会」への移行など、社会構造の変化が加速しています。

一方、社会インフラ面では、国内の高度成長期に整備された社会基盤を再構築する時期を迎え、ライフサイクル評価にもとづく更新や延命のニーズが増大してきました。

このような変化に対応し、叡智を結集して持続可能で豊かな社会の実現に貢献することは、企業の社会的使命のひとつであります。とりわけ、環境・エネルギー分野、社会インフラ分野で多岐にわたる技術を保有する JFE エンジニアリングの果たす役割は、今後ますます増大していくものと確信しております。

今回の JFE 技報は、「エンジニアリング特集号」として、環境浄化・省エネルギー・新エネルギーなどの環境負荷低減分野や、鋼構造物などの社会インフラ関連分野、そして検査・診断などのメンテナンス技術の中から、時代の要請に応える技術や商品の一部を紹介いたします。

当社は、「常に世界最高の技術をもって社会に貢献する」ことを企業理念とする JFE グループの一員として、今後も地球環境の改善につながる技術開発に挑戦し、社会のニーズに対応してまいります。引き続き、皆様からのご意見やご支援をいただければ幸いです。